一月五雲能

一月十六日（土）
午後一時始

13:00

竹生島

ツレ 木谷 哲也
シテ 内藤 飛能

ワキ 野口 琢弘
ワキツレ 野口 能弘
〃 吉田 祐一
間 野村太一郎

大鼓 大倉栄太郎
小鼓 曽和伊喜夫
太鼓 桜井 均
笛 杉 信太朗

後見 金森 秀祥
山内 崇生
藪 克徳
金森 良充

地謡 鶴田 航己
藤井 秋雅
金井 賢郎
東川 尚史
佐野 登
小倉 健太郎
今井 基

14:15

苞山伏

月崎 晴夫
岡 聡史
野村 遼太

〈休憩十五分〉

15:00

羽衣

シテ 田崎 甫

ワキツレ 村瀬 堤
ワキ 福王 和幸
ワキツレ 矢野 昌平

大鼓 柿原 孝則
小鼓 田邊 恭資
太鼓 林 雄一郎
笛 藤田 貴寛

後見 宝生 和英
水上 優

地謡 朝倉 大輔
辰巳 和磨
辰巳大二郎
澤田 宏司
大友 順
和久荘太郎
佐野 玄宜

〈休憩十五分〉

16:25

国栖

天女 上野 能寛
姥 金森 隆晋
子方 稲田 海音
シテ 高橋 憲正

ワキ 舘田 善博
ワキツレ 大日方 寛
〃 梅村 昌功
間 内藤 連
〃 飯田 豪

大鼓 原岡 一之
小鼓 飯冨 孔明
太鼓 梶谷 英樹
笛 栗林 祐輔

後見 佐野 由於
佐野 弘宜
金野 泰大

地謡 石黒 空
川瀬 隆士
當山 淳司
小倉伸二郎
今井 泰行
朝倉 俊樹
亀井 雄二

終演予定十七時三十五分頃

チケット料金
（税込）
一般　5,500円
学生　2,750円
（当日学生証提示）

ご購入は
オンラインチケット
または
宝生会事務局まで

演目の解説

能「竹生島」（ちくぶしま）

竹生島の弁財天に、参詣するため琵琶湖に来た朝臣は、釣船に乗って老翁と若い女に出会います。その船に乗せて欲しいと頼むと、最初は断られますが、初めて参詣する旨を重ねて訴えると、老翁の案内でこの島に下り、女人禁制の弁天の御殿に入り、琴を弾じ、舞を舞います。すると、老翁は実は神の化身であり、女は竜女であることが知れ、竜女は天女に変じて、宝珠を捧げ持って現れ、勇壮な舞を舞います。

能「羽衣」（はごろも）

長閑な春の三保の松原。漁師白竜は、松の枝に美しい衣を見つけ、持ち帰ろうとしますが、世にも美しい女性が「それは私の物」と呼びとめます。返してください、と言うと、天女は、衣は下さるものと頑なに帰れなくなります。白竜は、天女の舞を見てうっとりとなり、返してくれるなら、と言います。天女は、舞の言葉を信じ、天に返す。悲しむのは偽りなのだ、と言う。

能「国栖」（くず）

舞台は吉野山、時は壬申の乱。大友皇子に追われ、山中に分け入った浄御原（天武）天皇一行の前に現れた老夫婦は、船に乗って現れ、情けを掛けて、空腹の天皇の為に鮎を捕り、塩焼きを提供し、追手の追手が現れると、根芹を食べ、追手の追手が音楽と、舞を舞い、香りが満ちて、天皇を励まし、歳将来を祝福して去って行きます。